データパターンから失敗の原因がわかる！サンガーシーケンステクニカルセミナーを開催しました

平成 30 年 10 月 10 日 於：CoMIT0502 室

平成 30 年 10 月 10 日、当センター主催の「サンガーシーケンステクニカルセミナーその 1～反応から精製まで～」を開催いたしました。普段サンガーシーケンス解析をご利用の皆様（8 名）に、サンガーシーケンス担当者（田中）より「良いデータを得るための反応と精製方法」について説明をいたしました。

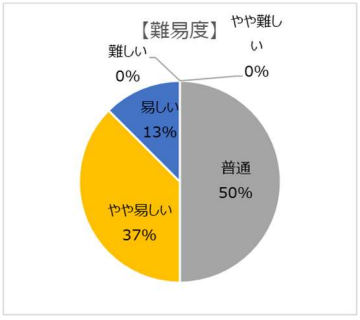
より確実な塩基配列解析のために

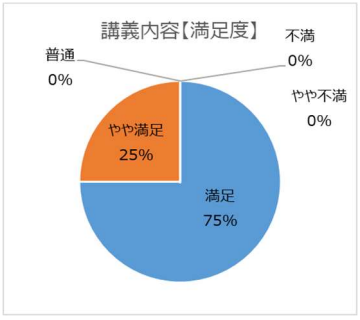


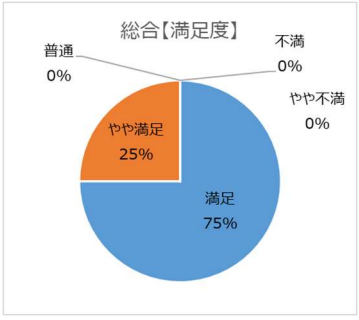
セミナー開催のきっかけは、受託解析において塩基配列が正しく読めていない事例が散見されることから、失敗を少なくするためにはどの様にすればよいか、説明する場を設けようというところから始まりました。

当日のセミナーは、データの見方から始め、塩基配列が読めなかったデータのパターンとその原因の解説を行いました。そして、その原因に対する改善方法を示すとともに、注意点についても説明を行いました。受講者のみなさんの集中した様子から、より良いデータを得たいという気持ちが感じられました。

セミナーのご感想







講義後に頂いたアンケートの結果、セミナーの内容は比較的容易～ちょうどよいレベルの難易度で、総合的に満足できるとのご評価を頂きました。また、反応組成、反応時間やテンプレート量の最適化、精製の重要性など、改善方法を知ることができてよかったとのご感想を頂きました。

参加者各人のご感想が異なっており、わかっていると思っていても意外に知らないことや、気付かないことがあるのではないかと感じました。今後も続編を企画し、皆様に役立つようなセミナーを開催したいと思います。

[連絡先]
大阪大学大学院医学系研究科 附属最先端医療イノベーションセンター共同利用機器室
CoMIT Omics Center HP お問合せフォームよりご連絡ください。
https://www.coc.med.osaka-u.ac.jp/info/